教育学部の教育理念・目標

本学部における教育理念は，人間形成に関わる専門的学術の研究を通して高度な学識と豊かな人間性および実践的な指導力を備えた専門的教育者を育成することです。

教員には，教育者としての使命感と豊かな人間性，深い教養，教育の理念，教科に関する専門的学力，優れた教育技術および幼児・児童・生徒の理解等，専門職としての高度の資質と能力が求められています。また，高度情報化や国際化の進展など社会が変化する中で，新たな教育の課題が生まれており，教員には，これらの課題に適確に応えていく能力も求められています。

したがって，本学部では，人間教育の基礎とされる幼児教育，初等教育，中等教育および心身に障害のある子どものための特別支援教育に携わる優れた指導力を備え，幼児・児童・生徒の成長と発達についての深い理解の上に優れた専門の学術・技能を身につけた豊かな識見と，新しい教育課題に適切に対応できる能力を持つ教育者の養成を目標としています。

学校教育教員養成課程の教育理念・目標

以上の目標を実現するために，本学部では学校教育教員養成課程を置き，そのもとに小学校教育コース, 中学校教育コース, 幼稚園教育コースおよび特別支援教育コースを設けています。それぞれのコースでは，コースに対応した学校種の教員免許状（一種）の取得が卒業の必要要件として課されています。

それぞれのコースの理念と目標は次の通りです。

小学校教育コースの教育理念・目標

本コースは，豊かな人間性と高い実践力を備え，さらに小学校教育の課題に積極的に取り組むことができる小学校教員の育成のために，下の４つの専攻を設けています。各専攻では，専攻の趣旨に沿った講義や演習および卒業研究での課題探究を通して，目標の達成を図ります。そのために，入学時にどの専攻に所属するかを決めます。

小学校教育コースにおいては，小学校教諭一種免許状の取得が卒業の必要条件ですが，その他にも本人の努力で必要な単位を修得することによって，幼稚園教諭免許状，中学校教諭免許状，高等学校教諭免許状，あるいは特別支援学校教諭免許状を取得することができます。小学校教諭免許状以外の免許状取得を希望する人は，入学時に各種免許状の取得希望書を提出することになります。このうち中学校教諭免許状，高等学校教諭免許状については，さらに免許状を取得する教科を決める必要があります。

1. 子ども理解実践専攻
   多様な感じ方や考え方を持つ一人ひとりの子どもたちのよき理解者として，子どもたちの良さを伸ばすことができる教員の育成を行います。
2. 教科授業実践専攻
   子どもたちは一つ一つの授業に参加して成就感を味わい，それを積み上げることによって学力の形成を行っていきます。小学校における各教科の授業を通して子どもたちの学ぶ力を伸ばすことができる教員の育成を行います。

3. ICT 活用実践専攻
ICT（情報通信技術）は，ますます発展してきており，我々の生活の中に浸透してきています。これにともない，すべての国民が情報をより良く使えるようになることが望まれています。学校教育においても教員には，授業や学校・学級運営等における ICT の活用，子どもたちの ICT 活用能力の育成が求められています。本専攻では，これらの要求に対処できる教員の育成を行います。
4. 多文化理解実践専攻
日本の発展のためには世界の国々と仲良くすることが必要です。このためには学校段階で世界の色々な文化を理解し，受入れる子どもたちを育てなければなりません。このため，本専攻においては，他国の大学生や小・中学校との交流を積極的に行い，この経験を活かした形で，学校教育の中で子どもたちの異文化理解能力を伸ばすことができる教員の育成を行います。

中学校教育コースの教育理念・目標

本コースは，主として中学校教育に関する高度な専門的力量と教育実践力を有し，問題意識をもって教育活動に取り組むことのできる中学校教育の教員の育成を目指しています。

本コースにおいては，卒業要件として所属する専攻の教科の中学校教諭一種免許状の取得が必要であり，そのためのカリキュラムが用意されています。以下に各専攻の理念および目標を示します。

1. 国語専攻：国語学，国文学（古典・近代），漢文学，書写・書道，国語教育の五つの分野から一つを選び，専門性の高い学修と研究に取り組み，研究者・国語教育の実践者としての基礎を培う。研究の課題・方法・成果について先行の事例を学ぶとともに，各自で研究主題を設け，追求し，随時経過報告を行い，指導・助言を得，研究を完成させ，その結果を論文にまとめる。
2. 社会専攻：小・中学校の社会科および高等学校の地理歴史科，公民科の指導には，「社会と人間」についての幅広い観点からの深い理解と，児童生徒の社会認識形成過程に即した学修を組織する能力が求められる。本専攻では，歴史学，地理学，法律学，政治学，経済学，社会学，哲学，倫理学，社会科教育学の９分野の専門科目，ゼミナールを設け，総合的な社会認識を形成するとともに，各分野の専門的研究能力と教育実践能力を融合的に育成することを目標とする。
3. 数学専攻：今日の数学教育では，幅広い視点から「数学－社会－人間」について総合的な理解と認識を深めることが求められている。この観点から本専攻では，代数学，幾何学，解析学，確率論，統計学，コンピュータという数学の各専門分野における講義・演習を通して，数学全般に関する専門的知識，能力を身につけ，数学的センスを磨くとともに，数学教育学における講義・演習を通して，数学教育に関する見識や実践的な能力を高めることを目標とする。
4. 理科専攻：物理学，化学，生物学，地学および理科教育という５つの分野に分かれている。各分野の講義・演習や実験・実習を通して，体系的な知識や基本的な研究方法を修得する

とともに自然科学教育の基礎を学修する。すなわち，自然の理（ことわり）についての認識を深め，そして探究心を育みながら，小学校あるいは中学校の理科の教員としてふさわしい総合的な自然科学の教養と実践的な能力を高めていくことを目標とする。

5. 音楽専攻：声楽，器楽，音楽学，作曲および音楽教育の５分野にわたって研究を深める。これらの講義や演習を通して，音楽に関する理論や知識を深め，声楽や器楽の演奏技能および表現力を高めるとともに，音楽科教育に関する知識や基礎的な実践力を育成し，中・高等学校の音楽教員としての資質と能力を身につけさせることを目標とする。
6. 美術専攻：絵画，彫刻，デザイン，工芸，美術理論・美術史，美術科教育の分野にわたって学び，さらに各分野のゼミナールに分かれて，それぞれの研究を深める。こうした学修・研究を通して，美術に関わる幅広い知識と技術を習得し，自らを研鎖することによって，美術・図画工作教員としての資質を養い，何よりも優れた人間性を身につけることを目標とする。
7. 保健体育専攻：保健体育およびスポーツに関する専門的知識を修得する。体育学，運動学，学校保健，体育実技および保健体育科教育等に関する広範な知識と高い専門性を備えた指導者を育成することを目標とする。
8. 技術専攻：技術学・工学に関する学問分野に位置している。技術学・工学は，真理を探究する学問である科学や数学を駆使して，よりよい暮らしを実現したり，よい製品を創り上げていく工学的方法を開発していく学問分野である。ここでは木材加工，金属加工，機械，電気，生物育成および情報基礎の各ゼミに分かれ，それぞれの分野で専門的な知識や概念を背景としながら先端の研究に着手することになる。以下にその例を示す。
   (1) 材料と加工に関する技術（主として木材及び金属）における教材ならびに教育法の研究開発
   (2) エネルギー変換に関する技術（機械及び電気）における教材ならびに教育法の研究開発
   (3) 生物育成に関する技術（主として栽培）における教材ならびに教育法の研究開発
   (4) 情報に関する技術（主としてマルチメディア及び計測・制御）における教材ならびに教育法の研究開発
9. 家庭専攻：自然科学領域から社会科学領域に至るまでの幅広い内容を展開しながら，中学校および高等学校の家庭科の教育・研究を担当しうる能力を備えた教員の養成を目標としている。そのため，６つの教科目の中で食物学，被服学，住居学では，講義・実験および実習を通して人間生活の最も基本である衣・食・住を物と関連させた内容を考究し，家庭経営学では，講義・演習を通して家族の経済活動と人間関係について考究し，保育学では子どもの理解と豊かな心身の健康を育む基本について考究する。さらに，家庭科教育に関する科目では家庭科教員として総合的に判断能力を身につけるための理論と実践を幅広く展開・考究しながら，家庭科に相応しい教員養成を目指している。
10. 英語専攻：英語の実際的な運用能力に加え，言葉と異文化への関心を高めるような言語教育を実践できる英語科教員の養成を目指す。このため，多読，作文，会話の系統的な指導に力を注ぐとともに，英米の文学作品や言葉の特質を固有の文化・歴史との関連の中で分

析，鑑賞する講義・演習を行うと同時に，英米の新しい教授理論を実践・検討し，よりよい英語教育のあり方を追求する。

幼稚園教育コースの教育理念・目標

本コースは，幼稚園において，子どもの豊かな感性とその遊び活動に共感し，子どもや保護者と共に育ち合える教員の育成を目指しています。その際，専門性をより備えた教員の養成を意図し，下の２つの専攻を設けています。両専攻とも幼稚園教諭免許状（一種）の取得が卒業に必要です。

両専攻では，本人の努力により必要な単位を修得することによって，小学校教諭免許状，中学校教諭免許状，高等学校教諭免許状，あるいは特別支援学校教諭免許状を取得することができます。

また本コース生は，希望により必要な単位を修得することによって，保育士資格を取得することができます。乳幼児教育・保育に携わりたいと考えている場合は，幼稚園教諭免許状と保育士資格の両方を取得することが望ましいです。

1. 芸術的感性開発専攻
   子どもたちの感性は非常に多様で鋭いものです。子どもたちの芸術的感性の芽を見つけて育てることを通して，子どもたちの個性と想像力を伸ばすことができる教員の育成を行います。
2. こども保育専攻
   これまで，小学校教育段階を見通した幼児教育者養成を行ってきた実績をふまえ，さらに芸術的素養を生かした保育実践力をつけることで，子どもの知性と情緒・感性，そして身体性の育ちを一層引き出すことができる教員の育成を行います。

特別支援教育コースの教育理念・目標

本コースは，主として知的障害，肢体不自由，病弱を対象とした特別支援学校および小・中学校の特別支援学級の教育を担当する教員の養成を目的として，障害のある児童・生徒を科学的，共感的に理解し，その教育の原理と方法を理論的に研究しながら，実践力の育成を目指しています。

具体的には特別支援教育の基礎理論，病理・生理学および心理学の領域からの児童・生徒理解，教育課程，指導方法等を専門的に学修します。特別支援学校教諭の免許状取得のためには，小学校教諭免許状か中学校教諭免許状のいずれかが基礎免許状として必要です。したがって，入学後に小学校教諭か中学校教諭のいずれかを基礎免許状とすることになります。また，中学校教諭を基礎免許状とする場合は，どの教科を中学校免許教科にするかを決定することが必要となります。

この教育目標を達成すべく，以下に挙げる３つのポリシーに基づいた学士課程教育を行います。

教育学部のディプロマ・ポリシー

所定のカリキュラムによる教育プログラムに定められた単位を修得し，

・幼児・児童・生徒の発達段階に応じて適切な指導ができる。
・教職や教科に関する専門的知識・技能を身につけている。
・社会人として必要な能力を身につけ，職場や地域の一員として適切な行動ができる。
・自ら学び，考え，教育の現代的課題に対応することができる。
・各コース・専攻に特徴的な専門的知識・技能を身につけている。

と認められた者に対し，学士（教育学）を授与します。

教育学部のカリキュラム・ポリシー

・入門科目で，幼児・児童・生徒の成長と発達について理解し，発達段階に応じた適切な指導を学びます。
・基礎科目で，各専攻の教職や教科に関する専門的知識・技能を身につけます。
・発展科目で，それぞれの専門性をさらに深めつつ，教育実地研究・実習を行い，自らの資質と教育実践力の向上を図ります。
・探究科目で，現代の教育課題に対応できる深い専門の能力を身につけます。
・これらに加え以下の通り，各コース・専攻それぞれに特徴的な専門的知識や技能を身につけます。

小学校教育コースでは，児童生徒理解，小学校教科教育，グローバル化および情報化に関する専門的知識や技能を身につけます（別表１）。

中学校教育コース　国語専攻では，国語学，国文学，漢文学，国語科教育，書写書道に関係する国語科の専門的知識・技能を習得し，母語としての国語の運用能力に優れ，思考・伝達の手段としての国語の重要性をよく認識した国語科の教員にふさわしい資質・能力を身につけます（別表２）。

中学校教育コース　社会専攻では，歴史学，地理学，法律学，政治学，経済学，社会学，哲学，倫理学，社会科教育学に関係する専門的知識や技能を習得し，社会系教科の教員に必要な資質・能力を身につけます（別表３）。

中学校教育コース　数学専攻では，中学校・高等学校の数学教師にふさわしい人間性と，代数，幾何，解析，確率統計，コンピュータおよび数学教育の６領域に関する専門的知識や技能を身につけます（別表４）。

中学校教育コース　理科専攻では，物理学，化学，生物学，地学，および理科教育の学修と研究を通して，理科の教員に必要な専門的知識や技能を身につけます。（別表５）。

中学校教育コース　音楽専攻では，音楽教科に関する専門教育科目で，音楽に関する専門的知識や技能を身につけます（別表６）。

中学校教育コース　美術専攻では，美術教科に関する専門教育科目領域を通して，絵画，彫刻，デザイン，工芸，美術史・美術理論，美術科教育の専門的知識や技能を身につけます（別表７）。

中学校教育コース　保健体育専攻では，保健体育教科に関する専門教育科目および教科教育法で，前記のカリキュラム・ポリシーの上から４つの項目を横断的・総合的に捉え，体育・スポーツ科学に関する基礎的な知識，質の高い実践能力と豊かな専門性を身につけます（別表８）。

中学校教育コース　技術専攻では，技術の教員として必要な専門的知識や技能と課題解決能力を講義および実験実習を通して身につけます（別表９）。

中学校教育コース　家庭専攻では，家庭経営学，被服学，食物学，住居学，保育学および家庭科教育の６領域に関する基礎的な生活科学の知識や技術を身につけ，中学校・高等学校の家庭科教師としての実践力を養います（別表 10)。

中学校教育コース　英語専攻では，英語の実際的な運用力を高めるとともに，言葉と異文化への関心を深めるような言語教育を実践できる知識や技能を身につけます（別表 11)。

幼稚園教育コースでは，幼児教育の専門科目を深く学び，質の高い保育・教育を実践できる専門性を身につけます（別表 12)。

特別支援教育コースでは，特別支援学校（知的障害・肢体不自由・病弱)，特別支援学級および通常学級における障害のある児童・生徒の教育・支援を，障害児の教育学，生理・病理学，心理学の各領域から学び，実践力を高めるための専門的知識や技能を身につけます（別表 13)。

具体的な科目名と育成を目指している主たる能力・資質との対応については各コース・専攻の別表（１～13）を参照してください。

なお，授業の成績評価は，定期試験の結果やレポートや課題，ディスカッション，プレゼンテーションの成果，授業やゼミナールへ取り組む意欲・態度などの観点から行います。評価の結果，学修成果が一定の水準に達したと担当教員が認めた場合に単位が認定されます。

（別表１）小学校教育コース

資質等＼科目等		入門科目	基礎科目	発展科目	探究科目
主として養われる資質	幼児・児童・生徒の成長と発達についての理解	教職の理解 教育心理学 特別な教育的ﾆｰｽﾞの理解と支援 子ども教育論 地域社会と教育 国際理解教育論		発達心理学	
	教職や教科に関する専門的知識・技能		教育原理論 教育哲学 教育史 子ども臨床 ＩＣＴ教育法 国際理解教育演習 教育経営論 初等教科教育法（社会科・理科・生活科・音楽科・国語科・算数科・図画工作科・家庭科・体育科・外国語） 小学校教科に関する専門教育科目（書写・生活科・国語科・算数科・理科・体育科）	心理学統計法 教育社会学 教育行政・制度論 教育課程論 道徳教育論 特別活動及び総合的な学習の時間の指導法 教育方法・技術論 複式教育論 生徒指導 教育相談 教職と ICT 活用 小学校教科に関する専門教育科目（音楽科・図画工作科・家庭科・社会科・外国語）	
	教育実践力		参加観察実習 学校教育実地体験実習 教育実習・事前指導 初等授業観察研究	教育実習 教育実習・事後指導 教職実践演習 初等学習材集中研究	
	対応能力・専門能力	専門ゼミナール 環境教育			ゼミナールⅠ・Ⅱ 卒業論文

（別表２）中学校教育コース　国語専攻

資質等＼科目等		入門科目	基礎科目	発展科目	探究科目
主として養われる資質	幼児・児童・生徒の成長と発達についての理解	教職の理解 教育心理学 特別な教育的ﾆｰｽﾞの理解と支援 子ども教育論 地域社会と教育 国際理解教育論			
	教職や教科に関する専門的知識・技能		教育原理論 教育哲学 教育史 子ども臨床 ＩＣＴ教育法 国際理解教育演習 教育経営論 国語学概論 国語学演習 国文法 国文学概論 古典文学講読Ⅰ 漢文学概論 書字論 中等書写法 中等国語科教育Ⅰ 中等国語科教育Ⅲ（書写）	心理学統計法 教育社会学 教育行政・制度論 教育課程論 道徳教育論 特別活動及び総合的な学習の時間の指導法 教育方法・技術論 複式教育論 国語学講読 国語表現 古典文学講読Ⅱ 漢文学講読 中等国語科教育Ⅱ 高校書道表現Ⅰ・Ⅱ 近代文学講読Ⅱ 漢文学演習 高校書道表現Ⅲa・Ⅲb 書道史 書論・鑑賞 書道科教育Ⅰ・Ⅱ 中等国語科教育研究	
	教育実践力		参加観察実習 学校教育実地体験実習 教育実習・事前指導	教育実習 教育実習・事後指導 教職実践演習	
	対応能力・専門能力	専門ゼミナール 環境教育			ゼミナールⅠ・Ⅱ 卒業論文

（別表３）中学校教育コース　社会専攻

資質等＼科目等		入門科目	基礎科目	発展科目	探究科目
主として養われる資質	幼児・児童・生徒の成長と発達についての理解	教職の理解 教育心理学 特別な教育的ﾆｰｽﾞの理解と支援 子ども教育論 地域社会と教育 国際理解教育論			
	教職や教科に関する専門的知識・技能		教育原理論 教育哲学 教育史 子ども臨床 ＩＣＴ教育法 国際理解教育演習 教育経営論 日本史Ⅰ・Ⅱ 外国史Ⅰ・Ⅱ 人文地理学 地誌学Ⅰ 法律学Ⅰ 社会学 哲学 倫理学 中等社会科教育Ⅰ	心理学統計法 教育社会学 教育行政・制度論 教育課程論 道徳教育論 特別活動及び総合的な学習の時間の指導法 教育方法・技術論 複式教育論 歴史学研究 自然地理学 地理学研究 地誌学Ⅱ 法律学Ⅱ 政治学Ⅰ・Ⅱ 経済学Ⅰ・Ⅱ 経済学研究 哲学・倫理学研究 中等社会科教育Ⅱ 社会科指導法（地理・歴史分野） 社会科指導法（公民分野） 地理歴史科教育 公民科教育	
	教育実践力		参加観察実習 学校教育実地体験実習 教育実習・事前指導	教育実習 教育実習・事後指導 教職実践演習	
	対応能力・専門能力	専門ゼミナール 環境教育			ゼミナールⅠ・Ⅱ 卒業論文

（別表４）中学校教育コース　数学専攻

資質等＼科目等		入門科目	基礎科目	発展科目	探究科目
主として養われる資質	幼児・児童・生徒の成長と発達についての理解	教職の理解 教育心理学 特別な教育的ﾆｰｽﾞの理解と支援 子ども教育論 地域社会と教育 国際理解教育論			
	教職や教科に関する専門的知識・技能		教育原理論 教育哲学 教育史 子ども臨床 ＩＣＴ教育法 国際理解教育演習 教育経営論 代数学Ⅰ 解析幾何学Ⅰ・Ⅱ 微分積分学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ コンピュータとアルゴリズム 線形代数学Ⅰ・Ⅱ 微分積分学演習 代数学演習 幾何学Ⅰ・Ⅱ 中等数学科教育Ⅰ 数学教材研究ａ	心理学統計法 教育社会学 教育行政・制度論 教育課程論 道徳教育論 特別活動及び総合的な学習の時間の指導法 教育方法・技術論 複式教育論 幾何学演習 微分方程式論 中等数学科教育Ⅱ 数学教材研究ｂ 代数学Ⅱ 確率論 複素関数論 統計学	
	教育実践力		参加観察実習 学校教育実地体験実習 教育実習・事前指導	教育実習 教育実習・事後指導 教職実践演習	
	対応能力・専門能力	専門ゼミナール 環境教育			ゼミナールⅠ・Ⅱ 卒業論文

（別表５）中学校教育コース　理科専攻

資質等＼科目等		入門科目	基礎科目	発展科目	探究科目
主として養われる資質	幼児・児童・生徒の成長と発達についての理解	教職の理解 教育心理学 特別な教育的ﾆｰｽﾞの理解と支援 子ども教育論 地域社会と教育 国際理解教育論			
	教職や教科に関する専門的知識・技能		教育原理論 教育哲学 教育史 子ども臨床 ＩＣＴ教育法 国際理解教育演習 教育経営論 物理学概論 力学とエネルギー 物理学実験Ⅰ 化学概論 有機化学 化学実験Ⅰ 生物学概論 植物学 生物学実験Ⅰ 地学概論 地質学 地学実験Ⅰ 中等理科教育Ⅰ・II	心理学統計法 教育社会学 教育行政・制度論 教育課程論 道徳教育論 特別活動及び総合的な学習の時間の指導法 教育方法・技術論 複式教育論 電磁気学 物理学実験Ⅱ 無機化学 化学実験Ⅱ 動物学 生物学実験Ⅱ 野外生物実習 天文学 地学実験Ⅱ 野外地質実習 中等理科教育ａ・ｂ	
	教育実践力		参加観察実習 学校教育実地体験実習 教育実習・事前指導	教育実習 教育実習・事後指導 教職実践演習	
	対応能力・専門能力	専門ゼミナール 環境教育			ゼミナールⅠ・Ⅱ 卒業論文

（別表６）中学校教育コース　音楽専攻

資質等＼科目等		入門科目	基礎科目	発展科目	探究科目
主として養われる資質	幼児・児童・生徒の成長と発達についての理解	教職の理解 教育心理学 特別な教育的ﾆｰｽﾞの理解と支援 子ども教育論 地域社会と教育 国際理解教育論			
	教職や教科に関する専門的知識・技能		教育原理論 教育哲学 教育史 子ども臨床 ＩＣＴ教育法 国際理解教育演習 教育経営論 中等音楽科教育Ⅰ ピアノ表現法Ⅱ 合唱 アンサンブル・伴奏法Ⅰ 声楽 音楽史 作曲・編曲法 和声学 器楽表現法ａ・ｂ	心理学統計法 教育社会学 教育行政・制度論 教育課程論 道徳教育論 特別活動及び総合的な学習の時間の指導法 教育方法・技術論 複式教育論 音楽鑑賞教材研究ａ・ｂ 中等音楽科教育Ⅱ アンサンブル・伴奏法Ⅱ 伝統音楽表現法 指揮法 合奏ａ・ｂ 歌唱表現法Ⅰ・Ⅱ 器楽表現法ｃ・ｄ	
	教育実践力		参加観察実習 学校教育実地体験実習 教育実習・事前指導	教育実習 教育実習・事後指導 教職実践演習	
	対応能力・専門能力	専門ゼミナール 環境教育			ゼミナールⅠ・Ⅱ 卒業論文

（別表７）中学校教育コース　美術専攻

資質等＼科目等		入門科目	基礎科目	発展科目	探究科目
主として養われる資質	幼児・児童・生徒の成長と発達についての理解	教職の理解 教育心理学 特別な教育的ﾆｰｽﾞの理解と支援 子ども教育論 地域社会と教育 国際理解教育論			
	教職や教科に関する専門的知識・技能		教育原理論 教育哲学 教育史 子ども臨床 ＩＣＴ教育法 国際理解教育演習 教育経営論 美術史 中等美術科教育Ⅰ・Ⅱ 工芸基礎 絵画基礎 彫刻基礎 デザイン基礎	心理学統計法 教育社会学 教育行政・制度論 教育課程論 道徳教育論 特別活動及び総合的な学習の時間の指導法 教育方法・技術論 複式教育論 美術理論 造形芸術論 中等美術科教育 a・b 工芸 a・b 絵画 a・b 彫刻 a・b デザイン a・b	
	教育実践力		参加観察実習 学校教育実地体験実習 教育実習・事前指導	教育実習 教育実習・事後指導 教職実践演習	
	対応能力・専門能力	専門ゼミナール 環境教育			ゼミナールⅠ・Ⅱ 卒業論文

（別表８）中学校教育コース　保健体育

資質等＼科目等		入門科目	基礎科目	発展科目	探究科目
主として養われる資質	幼児・児童・生徒の成長と発達についての理解	教職の理解 教育心理学 特別な教育的ﾆｰｽﾞの理解と支援 子ども教育論 地域社会と教育 国際理解教育論			
	教職や教科に関する専門的知識・技能		教育原理論 教育哲学 教育史 子ども臨床 ＩＣＴ教育法 国際理解教育演習 教育経営論 体つくり運動 水泳 柔道 剣道 舞踊 陸上競技 器械運動 バレーボール バスケットボール サッカー ラグビー 野外運動 体育原理 体育心理学 体育社会学 体育史 運動学 学校保健 衛生学および公衆衛生学 生理学 中等保健体育科教育Ⅰ・Ⅱ	心理学統計法 教育社会学 教育行政・制度論 教育課程論 道徳教育論 特別活動及び総合的な学習の時間の指導法 教育方法・技術論 複式教育論 中等保健体育科教育Ⅲ・Ⅳ	
	教育実践力		参加観察実習 学校教育実地体験実習 教育実習・事前指導	教育実習 教育実習・事後指導 教職実践演習	
	対応能力・専門能力	専門ゼミナール 環境教育			ゼミナールⅠ・Ⅱ 卒業論文

（別表９）中学校教育コース　技術専攻

資質等＼科目等		入門科目	基礎科目	発展科目	探究科目
主として養われる資質	幼児・児童・生徒の成長と発達についての理解	教職の理解 教育心理学 特別な教育的ﾆｰｽﾞの理解と支援 子ども教育論 地域社会と教育 国際理解教育論			
	教職や教科に関する専門的知識・技能		教育原理論 教育哲学 教育史 子ども臨床 ＩＣＴ教育法 国際理解教育演習 教育経営論 材料の科学ａ・ｂ 材料の加工Ⅰａ・Ⅰｂ 測定工学概論 エネルギー工学概論 機械工学概論Ⅰ 電気電子工学概論Ⅰ 情報科学概論 生物育成学概論 技術科教育論ａ・ｂ	心理学統計法 教育社会学 教育行政・制度論 教育課程論 道徳教育論 特別活動及び総合的な学習の時間の指導法 教育方法・技術論 複式教育論 技術科教材研究ａ・ｂ 材料加工実験実習ａ・ｂ 機械工学概論Ⅱ 機械工学実験実習 電気電子工学概論Ⅱ 電気工学実験実習 ﾏﾙﾁﾒﾃﾞｨｱとﾈｯﾄﾜｰｸ 情報処理実習 栽培学実験実習 工業科教育 職業指導 工業科教材論	
	教育実践力		参加観察実習 学校教育実地体験実習 教育実習・事前指導	教育実習 教育実習・事後指導 教職実践演習	
	対応能力・専門能力	専門ゼミナール 環境教育			ゼミナールⅠ・Ⅱ 卒業論文

（別表 10）中学校教育コース　家庭専攻

資質等＼科目等		入門科目	基礎科目	発展科目	探究科目
主として養われる資質	幼児・児童・生徒の成長と発達についての理解	教職の理解 教育心理学 特別な教育的ﾆｰｽﾞの理解と支援 子ども教育論 地域社会と教育 国際理解教育論			
	教職や教科に関する専門的知識・技能		教育原理論 教育哲学 教育史 子ども臨床 ＩＣＴ教育法 国際理解教育演習 教育経営論 家庭経営学 被服学 被服制作実習Ⅰ・Ⅱ 食物学 調理学 調理実習Ⅰ・Ⅱ 住居学 保育学Ⅰ・Ⅱ 中等家庭科教育Ⅰ・Ⅱ 生活情報処理実習 住環境論 生活経済学 家族論 被服学実験 食品衛生・加工学	心理学統計法 教育社会学 教育行政・制度論 教育課程論 道徳教育論 特別活動及び総合的な学習の時間の指導法 教育方法・技術論 複式教育論 家庭看護 家庭電気・機械 住空間デザイン演習 家庭科教材研究ａ・ｂ 被服環境学 栄養機能学 食物学実験 小児臨床	
	教育実践力		参加観察実習 学校教育実地体験実習 教育実習・事前指導	教育実習 教育実習・事後指導 教職実践演習	
	対応能力・専門能力	専門ゼミナール 環境教育			ゼミナールⅠ・Ⅱ 卒業論文

（別表 11）中学校教育コース　英語専攻

資質等＼科目等		入門科目	基礎科目	発展科目	探究科目
主として養われる資質	幼児・児童・生徒の成長と発達についての理解	教職の理解 教育心理学 特別な教育的ﾆｰｽﾞの理解と支援 子ども教育論 地域社会と教育 国際理解教育論			
	教職や教科に関する専門的知識・技能		教育原理論 教育哲学 教育史 子ども臨床 ＩＣＴ教育法 国際理解教育演習 教育経営論 英語音声学Ⅰ・Ⅱ 英語演習Ⅰ・Ⅱ 英文法演習Ⅰ・Ⅱ 英会話Ⅰ・Ⅱ 英作文Ⅰ・Ⅱ 英語文学史 英語文学概論 英語科教育入門Ⅰ・Ⅱ	心理学統計法 教育社会学 教育行政・制度論 教育課程論 道徳教育論 特別活動及び総合的な学習の時間の指導法 教育方法・技術論 複式教育論 英会話Ⅲ・Ⅳ 異文化理解研究Ⅰ・Ⅱ EIL 演習 英語史概論 英語学Ⅰ・Ⅱ 英語文学演習Ⅰ・Ⅱ 中等英語科教育Ⅰ・Ⅱ	
	教育実践力		参加観察実習 学校教育実地体験実習 教育実習・事前指導	教育実習 教育実習・事後指導 教職実践演習	
	対応能力・専門能力	専門ゼミナール 環境教育			ゼミナールⅠ・Ⅱ 卒業論文

（別表 12）幼稚園教育コース

資質等＼科目等		入門科目	基礎科目	発展科目	探究科目
主として養われる資質	幼児・児童・生徒の成長と発達についての理解	教職の理解 教育心理学 特別な教育的ﾆｰｽﾞの理解と支援 子ども教育論 地域社会と教育 国際理解教育論			
	教職や教科に関する専門的知識・技能		教育原理論 教育哲学 教育史 子ども臨床 ＩＣＴ教育法 国際理解教育演習 教育経営論 保育内容総論 保育原理 保育者論 こどもと環境 こどもと言葉 こどもの表現ａ・ｂ 子ども家庭福祉 こどもの感性開発実践演習Ⅰ・Ⅱ 乳児保育Ⅰ 乳幼児の健康（内容）	心理学統計法 教育社会学 教育行政・制度論 教育課程論 道徳教育論 特別活動及び総合的な学習の時間の指導法 教育方法・技術論 複式教育論 乳幼児の心理と援助 幼児保育計画論 こどもと人間関係 こどもの表現ｃ 家族支援論 保育実践方法論 社会的養護Ⅰ・Ⅱ 子育て支援 障害児保育 乳児保育Ⅱ アート・マネジメント演習Ⅰ・Ⅱ	
	教育実践力		参加観察実習 学校教育実地体験実習 教育実習・事前指導	教育実習 教育実習・事後指導 教職実践演習	
	対応能力・専門能力	専門ゼミナール 環境教育			ゼミナールⅠ・Ⅱ 卒業論文

（別表 13）特別支援教育コース

資質等＼科目等		入門科目	基礎科目	発展科目	探究科目
主として養われる資質	幼児・児童・生徒の成長と発達についての理解	教職の理解 教育心理学 特別な教育的ﾆｰｽﾞの理解と支援 子ども教育論 地域社会と教育 国際理解教育論			
	教職や教科に関する専門的知識・技能		教育原理論 教育哲学 教育史 子ども臨床 ＩＣＴ教育法 国際理解教育演習 教育経営論 障害児教育史 知的障害児教育課程論 障害児の心理Ⅰ・Ⅱ 障害児の生理・病理Ⅰ・Ⅱ 視覚障害児教育総論 聴覚障害児教育総論 重複障害児教育総論 発達障害児教育総論 ★各教科（基礎免）（小中）	発達心理学 心理学統計法 教育社会学 教育行政・制度論 教育課程論 道徳教育論 特別活動及び総合的な学習の時間の指導法 教育方法・技術論 複式教育論 人権教育 肢体不自由児教育課程論 病弱児教育課程論 知的障害児指導法 肢体不自由児指導法 病弱児指導法 肢体不自由児の心理・生理・病理 病弱児の心理・生理・病理	
	教育実践力		参加観察実習 学校教育実地体験実習 教育実習・事前指導	教育実習 教育実習・事後指導 教職実践演習	
	対応能力・専門能力	専門ゼミナール 環境教育			ゼミナールⅠ・Ⅱ 卒業論文

教育学部のアドミッション・ポリシー

教育学部は入学者に以下の資質・素養を求めます。

・専門科目の学修の基盤となる高等学校卒業程度の知識・技能・理解が充実している。
・専門的な学修に必要となる基礎的な論理的・批判的思考力や判断力，表現力がある。
・児童・生徒および保護者，同僚その他の人々との良好な対人関係を構築するために必要な非言語的要素を含むコミュニケーション能力がある。
・主体的に学修を継続し，発展させようとする意欲と態度がある。
・現代の教育課題への関心を持ち，教職を志望している。

選抜方法に関する別表

入試区分 求める資質等	一般入試 前期日程	一般入試 後期日程	推薦入試Ⅰ	AO 入試Ⅰ	外国人留学生 入試
基礎学力	センター試験	センター試験	調査書	調査書	日本留学試験 個別学力試験
思考力・判断力・表現力	個別学力試験	小論文	小論文等	課題論文 自己表現	個別学力試験
コミュニケーション能力	調査書等*	調査書*	面接	面接	面接
教職の志望 教育への関心 主体的学修の意欲・態度	調査書等*	調査書*	面接 調査書 推薦書 志望理由書	面接 調査書 自己推薦書 諸活動の記録	面接

*平成 30 年度入試においては参考資料とする。